

§ 1 数え方のくふう

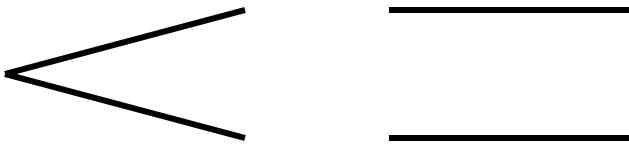
場合の数

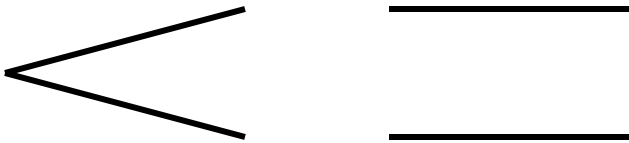
3曲 A, B, C の録音順

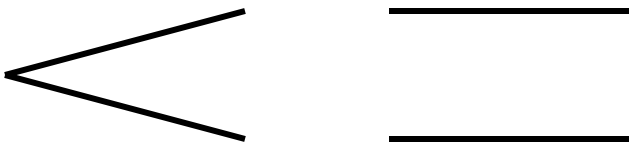
1 曲目

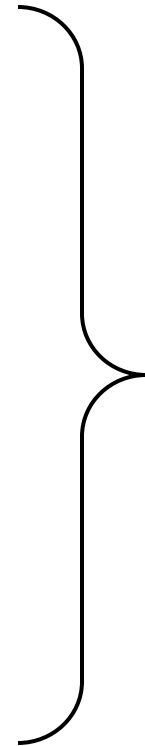
2 曲目

3 曲目

A 

B 

C 

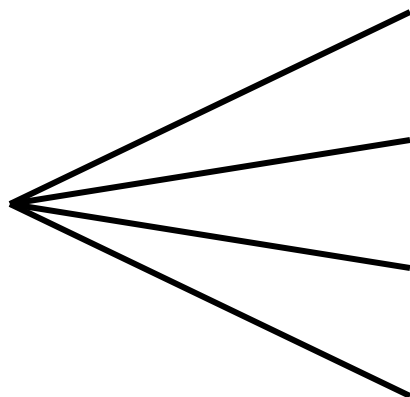
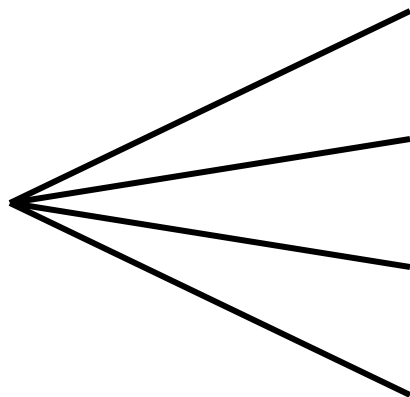


《P128 例1》

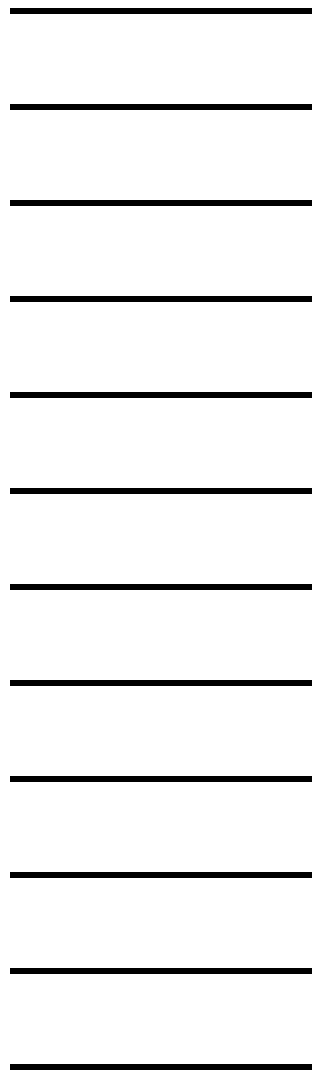
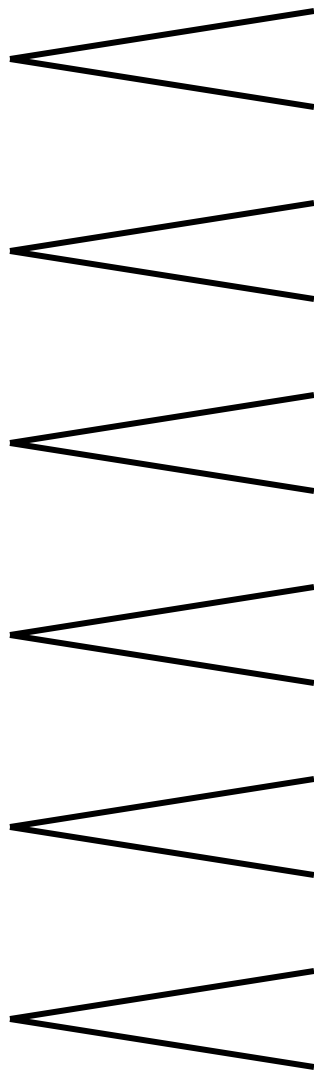
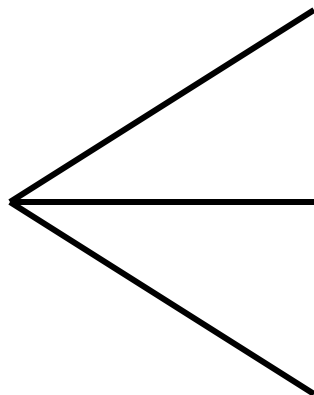
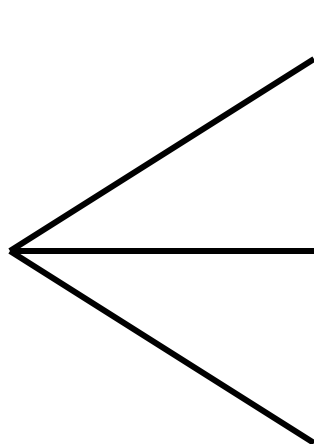
ランチコースメニューの選び方

主食

おかず



《P128 問 1》



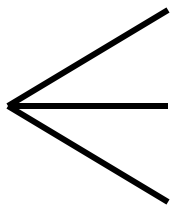
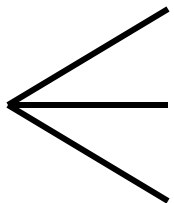
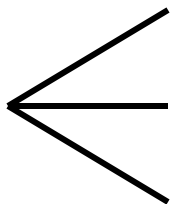
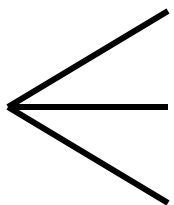
《P128 例 2》

	A	B	C	D
A				
B				
C				
D				

《P129 問 2》

《P129 問 3》

《P129 練習問題①》



《P129 練習問題②》

(1)

(2)

§ 2 確率の求め方

《さいころの目の出かた》

実験で1の目が出る確率は、 $\frac{1}{6}$ に近い値になる

さいころの目の出かたは、

(ア) 目の出かたは1, 2, 3, 4, 5, 6の $\frac{1}{6}$ である

(イ) どの目が出ることも $\frac{1}{6}$ と期待される

(ウ) 1の目が出る場合は、 $\frac{1}{6}$ である

なので、1の目が出る確率は、

$$\frac{\text{(ウ)の場合の数}}{\text{(ア)の場合の数}}$$

となり、実験の結果と一致している。

上の(イ)のようなとき、どの目が出ることも $\frac{1}{6}$ という。

《確率の求め方》

起こる場合の1つ1つが、どれも
ときは、
として、
を求めることができる。

確率の求め方

起こる場合が全部で 通りあり、そのどれが起こることも、同様に確からしいとする。

そのうち、ことがらAの起こる場合が 通りであるとき、

ことがらAの起こる確率

《いろいろなことからの確率》

《P131 例1・問1》

①赤玉4個、白玉2個、青玉3個が入っている箱から玉を1個取り出すとき

(ア) 玉の取り出し方は、全部で 7 である

(イ) どの玉の取り出し方も、

(ウ) 赤玉が出る場合は、 4 である

なので、

(1) 赤玉が出る確率

(2) 青玉が出る確率

(3) 青玉または白玉が出る確率

②赤玉9個が入っている箱から玉を1個取り出すとき

(1) 赤玉が出る確率

(2) 白玉が出る確率

- かならず起こることからの確率は である。
- けっして起こらないことからの確率は である。

あることからの起こる確率を p とするとき、 p の値の範囲は となる。

《P131 問2》

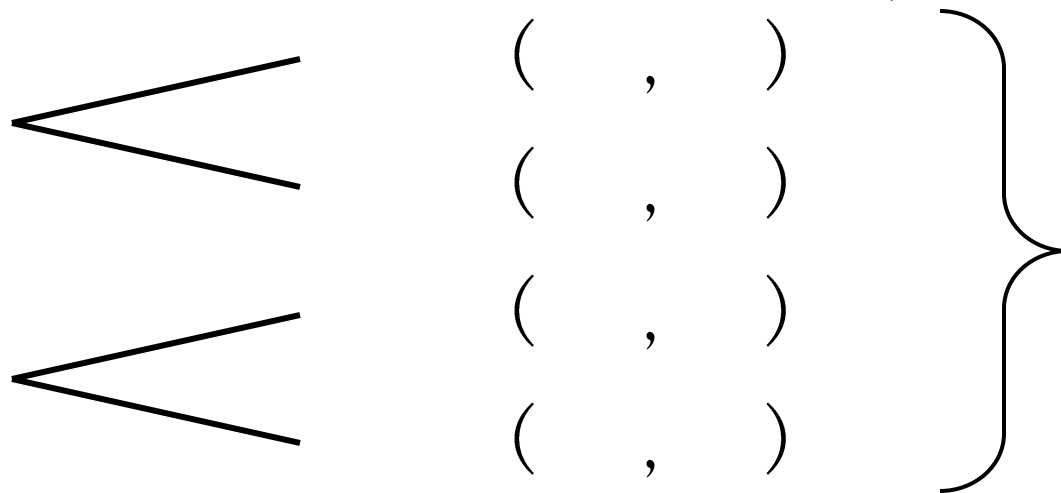
(1)

(2)

《P132 例題 1・問 3・問 4》

① 2枚(A, Bと区別する)の硬貨を同時に投げるとき

A B (表は○、裏は×)



(1) 2枚とも表となる確率

(2) 2枚とも裏となる確率

(3) 1枚は表で1枚は裏となる確率

② 3枚(A, B, Cと区別する)の硬貨を同時に投げるとき
A B C (表は○、裏は×)

(1) 3枚とも表となる確率

(2) 3枚とも裏となる確率

(3) 2枚は表で
1枚は裏となる確率

(4) 1枚は表で
2枚は裏となる確率

《P133 例題 2・問 5》

2個のさいころを同時に投げるとき

それぞれ6通りの場合があるので、すべての場合の数は、

A \ B	1	2	3	4	5	6
1						
2						
3						
4						
5						
6						

(1) 同じ目が出る確率

(2) 出る目の数の和が9になる確率

(3) 出る目の数の和が6になる確率

(4) 出る目の数の和が10以上になる確率

《P133 問6》

A, Bの2人が1, 2, 3と書いてあるカードから1枚を出し、数の大きい方を勝ちとする。

それぞれ3通りの場合があるので、すべての場合の数は、

A \ B	1	2	3
1	(1,1)		
2			
3			

Aが負けない場合は

だから、Aが負けない確率は

《P134 例題 3》

5本のうち、あたりが2本はいつているくじから、同時に2本ひくとき、少なくとも1本があたる確率
2本のあたりを①, ②,
3本のはずれを③, ④, ⑤ とすると、
くじのひき方は、

少なくとも1本があたりである場合は、
だから、求める確率は、

《P134 問7》

4枚のカードから、同時に2枚を取り出すとき
取り出し方と、2数の積は、

- (1) 少なくとも一方が偶数である場合は、
だから、求める確率は、
- (2) 2数の積が6より大きくなる場合は、
だから、求める確率は、

《P135 基本のたしかめ 1》

ボタンAの表のでのる割合

ボタンBの表のでのる割合

よって、ボタン の方が表が出やすい

《P135 基本のたしかめ2》

(1) 100の位 10の位 1の位

(2)

《P135 基本のたしかめ3》

(1) 5本のうちあたりが2本はいつているくじから、
1本ひくとき、

くじのひき方は、全部で、
あたりが出る場合は、

だから、求める確率は、

(2) 2枚の硬貨を投げるとき、

硬貨の表裏の出かたは、

2枚とも裏が出る場合は、

だから、求める確率は、

《P135 章末問題 1》

《P135 章末問題 2》

(1)

(2)

(3)

(4)

《P135 章末問題 3》

(1)

(2)

《P135 章末問題 4》

(1)

(2)

《P135 章末問題 5》

(1)

(2)